

みやま

NEWS No-7

九州大会『みやま』躍動! なぎなた・陸上・少林寺拳法・ホッケー

6月15日～19日に佐賀市で陸上・北九州大会が、6月18日～20日に宮崎市でホッケーとなぎなた、鹿児島市で少林寺拳法の九州大会がそれぞれ行われ、ホッケー部(男子)が九州大会で2位となり全国大会(インターハイ)の出場を見事に勝ち取りました。残念ながら上位入賞を果たせなかった選手も、全員が全力を尽くして競技に臨みました。今回の九州大会に参加した選手の声をお届けします。 ※ホッケー部は次号に掲載予定です。

少林寺拳法部 1年 溝回綺乃さん(こののえ緑陽中学校出身)

私は玖珠美山高校に入学して、「新しいことに挑戦して人間性を高めたい」、「先輩のようにかっこよく演武したい」、「自分や家族を守れるよう強くなりたい」との思いで少林寺拳法部に入部しました。入部して間もない中で九州大会に出場することができ、とても嬉しかったです。結果は満足のものではありませんでしたが、出場した選手の素晴らしい演武を見ることができ本当によい経験になりました。そして、これからもっともっと頑張っていこうという気持ちになりました。中学生の皆さんも、ぜひ新しいことに挑戦してみてください。きっと、今までにはない、新しい「何か」を得ることができると思います!!



陸上部 3年 廣田銀河君(こののえ緑陽中学校出身)

3年生最後の大会として出場した北九州大会。結果は、少し悔いの残るものとなりました。しかし、自分自身が北九州大会に出場すること、3年生全員で北九州大会に参加するという目標が達成できたので満足しています。陸上部は3年生が引退し、2年生を主体とする新体制で再スタートを切ります。僕は部活動から引退しますが、将来の進路達成に向けて、自分に足りないものは何か、どうすれば強くなれるのかを常に考え、そして行動し、目標達成に向けて走り続けます。



なぎなた部 3年 笠原芽さん(三隈中学校出身)

九州大会の1回戦の対戦相手は強豪の佐賀東高校でしたが勝利することができ、本当に驚きました。2回戦は沖縄県の知念高校で、残念ながら負けてしまいました。好成績を残すことはできませんでしたが、悔いのない試合をする事ができました。私は九州大会に参加して、3年間なぎなたをやってきて、本当に良かったなと思いました。なぎなたを通して、技術だけではなく礼儀作法、年長者に対する配慮や同じ目標に向けて努力する同志の大切さを学ぶことができました。また、たった3年間で私を成長させてくれた芝原先生には、感謝しても感謝しきれません。1, 2年生は、今後、苦しいことや辛いことがたくさんあると思いますが、なぎなたを愉しんでもらいたと思います。中学生の皆さんも、玖珠美山高校で、「なぎなた」を通して人間的に大きく成長してみませんか。

